



## 研修医日記

作成者：芦田 雄汰朗（1年次）

こんにちは、1年次研修医の芦田雄汰朗です。

今回で2回目の日記です。前は金谷公園に咲く桜について書いたと記憶しておりますが、時が経つのは早いもので暑い日が続く季節となりました。

夏といえば海や山といったアウトドアがまず思い出されますが、インドアの私にとっては暑い季節でも読書に関心があります。どちらも楽しめる人間であれば良かったのですが、大学生時代に趣味を見つけようとした結果、家の中で出来るものばかり残ってしまいました。

最近ではエッセイを読むことが増えてきました。好きな歌手のエッセイを試して読んで面白かったことがきっかけで、興味のある芸能人のエッセイを読むようになりました。

それまでは小説を読むことが多く、エッセイの面白さを理解できていませんでした。他人の考えを知ることができ、かつそれが自分の考えと一致すると不思議な嬉しさを感じることが出来ます。反対に、自分が思いつきもしなかった考えや感情に出会えることも魅力の一つです。

違う変化として、自分の中では革新的なことなのですが、作者を見て本を買うことが多くなってきました。以前は理由もなく本屋に行き、タイトルや表紙を見て本を書くことがほとんどでした。しかし、最近になって作者に興味を持つようになり、新刊が発売される日をワクワクして待つようになりました。自分では気付かなかった趣味趣向や加齢による好みの変化を知ることができました。

本の買い方が変わった大きな理由がもう一つあります。電子書籍を買うようになったことです。部屋に物が増えていくことを避けるためであったのですが、まさか自分の本の買い方が変わるとは思いませんでした。医学書も電子書籍で買うようになっていたこともあり、想像していたよりスムーズに紙から電子書籍に移行できたと自覚しております。

色々な変化がありましたが（すべて自身の中で起こったものであるため外からは全く変化なしですが）、これからも読書を楽しみたいと思います。

最後に読書を趣味にしたきっかけを書いて終わります。ずばり頭が良いように見えるかもしれないと思ったからです。

以上です。大変失礼いたしました。

※日記の作成日と当ページへの掲載日は異なる場合があります。